

2023（令和 5）年 1 月 20 日

ワクチンに関する死亡報告一覧

2023 年 1 月 5 日現在

期 間	No.	ワクチン (製造販売業者/ロ ット)	年齢・性別 基礎疾患等	接種日 経過	報告医評価	調査の結果	死亡症例として 報告を受けた日付 合同部会評価
報 告 対 象 期 間 内	1	シングリックス (GSK/ZS006)	80 歳 (発症時)・ 女 不明	2022 年 6 月 13 日接種 接種 38 日後、コロナウイルス 修飾ウリジン RNA ワクチン (SARS-CoV-2) を接種後、発 熱したことを家族に電話で 伝えた。接種 39 日後、死亡 し、その後家族により発見さ れた。死因は心筋梗塞とされ た。死亡時画像診断及び剖検 は実施されなかった。	評価不能	情報不足のため、 ワクチン接種との 因果関係は評価で きない。 因果関係評価：γ	2022 年 8 月 4 日 2022 年 10 月 7 日 合同部会 (報告) 2023 年 1 月 20 日 合同部会 (評価)

報告対象期間内	2	シングリックス (GSK/不明)	71歳(発症時)・ 男 調査中	2022年6月15日接種 接種約2カ月後、死亡した。	調査中	調査中	2022年9月30日 2023年1月20日 合同部会(報告)
報告対象期間後	3	アクトヒブ (サノフィ/ U1F09) プレベナー13 (ファイザー/ FJ6084) テトラビック (阪大微研/ 4K42C)	4カ月(接種時)・ 男 調査中	2022年10月19日接種 接種後、死亡した。	調査中	調査中	2022年10月20日 2023年1月20日 合同部会(報告)
報告対象期間後	4	ニューモバックス NP (MSD/不明)	75歳(発症時)・ 男 調査中	接種日不明 接種約1カ月後、死亡した。	調査中	調査中	2022年12月8日 2023年1月20日 合同部会(報告)

※専門家の因果関係評価

α : 「ワクチンと症状名との因果関係が否定できないもの」

原疾患との関係、薬理学的な観点や時間的な経過などの要素を勘案し、医学・薬学的観点から総合的に判断し、ワクチン接種が、事象発現の原因となったことが否定できない症例。

β : 「ワクチンと症状名との因果関係が認められないもの」

原疾患との関係、薬理学的な観点や時間的な経過などの要素を勘案し、医学・薬学的観点から総合的に判断し、ワクチン接種が、事象発現の原因となったとは認められない症例。

γ : 「情報不足等によりワクチンと症状名との因果関係が評価できないもの」

情報が十分でない、使用目的又は方法が適正でない等のためワクチン接種と事象発現との因果関係の評価ができない症例。

(症例 No.1)

1. 報告内容

(1) 事例

80歳（発症時）の女性。

2022年6月13日、乾燥組換え帯状疱疹ワクチン（チャイニーズハムスター卵巣細胞由来）2回目が接種された。接種前の体温は36.2℃であり、接種前後の異状は認められなかった。

7月21日、コロナウイルス修飾ウリジンRNAワクチン（SARS-CoV-2）4回目が接種され、その後、38.5℃発熱したことを家族に電話で伝えた。

7月22日午後1時に、親戚と電話で会話をした。その後、死亡した。午後5時、家族により発見された。推定される死亡時刻は午後3時であり、死因は心筋梗塞とされた。死亡時画像診断及び剖検は実施されなかった。

(2) 接種されたワクチンについて

乾燥組換え帯状疱疹ワクチン（チャイニーズハムスター卵巣細胞由来）
(GSK ZS006)

(3) 接種時までの治療等の状況

基礎疾患はなかった。既往歴、副作用歴及びアレルギー歴は不明であった。2022年4月12日、乾燥組換え帯状疱疹ワクチン（チャイニーズハムスター卵巣細胞由来）1回目が接種された。接種前の体温は36.0℃であった。

2. ワクチン接種との因果関係についての報告医等の意見

報告医：

乾燥組換え帯状疱疹ワクチン（チャイニーズハムスター卵巣細胞由来）と心筋梗塞および発熱の因果関係：不明

乾燥組換え帯状疱疹ワクチン（チャイニーズハムスター卵巣細胞由来）接種後1カ月以上経過しているため。

3. 専門家の評価

γ

死因が心筋梗塞とされた根拠が、入手できる情報からははっきりしない。乾燥組換え帯状疱疹ワクチン（チャイニーズハムスター卵巣細胞由来）2回目接種の39日後、新型コロナワクチン4回目接種翌日の突然死症例であるが、本症例の死亡と乾燥組換え帯状疱疹ワクチン接種との因果関係は不明と考える。